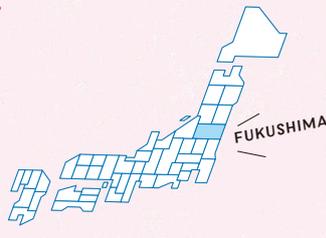




# 第9回 公害資料館 連携フォーラム in 福島



災害を伝え、  
未来をつくる

私たちはなぜ災害の経験を継承しようとするのでしょうか。被害は避けられないものではなく、災害への社会的対応によって、軽減したり回避することもできます。私たちはどのような未来をめざすのか、公害や東日本大震災などの経験から学び、ともに考えたいと思います。

2023  
12/16-17  
土 日

場所

福島大学L講義棟

福島県福島市金谷川1

基調講演

当事者感覚獲得のために  
— 災いの記憶を語り継ぐ  
意義とその伝え方 —



やまうち ひろやす  
山内 宏泰さん  
(リアス・アーク美術館館長)

参加費

● フォーラム参加費

一般: 3,000 円(資料集あり)

公害資料館ネットワーク会員: 2,000 円(資料集あり)

学生: 無料(申込必要、資料集が必要な場合は別途購入)

● 現地見学(定員20人・申込先着順): 5,000 円

● 交流会(定員50人・申込先着順): 3,000 円

スケジュール

12/16  
(土)

- 8:30~14:30 現地見学  
(福島県いわき湯本温泉「古滝屋」出発、  
福島大学帰着)
- 15:00~17:00 開会、基調講演
- 17:30~19:00 交流会

12/17  
(日)

- 9:30~12:00 分科会
- 12:15~13:15 ランチミーティング
- 13:30~15:00 全体会

無料(申込不要)

基調講演のみ  
YouTube で  
ライブ配信をします



[https://www.youtube.com/  
@kougai\\_nw](https://www.youtube.com/@kougai_nw)

地球環境基金助成事業

主催: 公害資料館ネットワーク(代表幹事 西村仁志(広島修道大学))  
第9回公害資料館連携フォーラム in 福島実行委員会(実行委員長 山川充夫(福島大学名誉教授)、副実行委員長 後藤忍(福島大学))  
共催: 一般社団法人日本環境教育学会、公益社団法人日本環境教育フォーラム  
後援: 福島大学、環境省、福島県、ESD活動支援センター、東北地方ESD活動支援センター、全日本博物館学会、日本アーカイブズ学会、  
日本展示学会、原子力市民委員会、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社  
協力: 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)、福島県立博物館